

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用定員に対して県の基準を満たしている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			常時5～6人の職員を配置しており、基準を満たしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			建物の構造上バリアフリー化が困難な点があり、契約前に段差場所を説明して確認してもらっている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			日々のミーティング・振り返りや個別支援計画会議に多くの職員が参画している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			外部評価アンケートを実施し、業務改善の研修に活用した。職員間で課題共有と改善点について検討した。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページ上で公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者による外部評価の実施を検討する必要がありますと考えています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			非常勤職員を含め社内研修がある。行政や他団体主催の研修にも積極的に参加している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者面談記録と保育個人記録に基づき、半年に一度個別支援計画作成会議を行っている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			診断書や検査結果を保護者から提出してもらっている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			木子里グループ3施設合同で保育会議を行っている
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			年間計画・月案を作成し取り組みごとにねらいを明確にしながら応用発展させている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休業中は遠方へのお出かけやデイキャンプを実施している。放課後では取り組めない課題に時間をかけて計画的に取り組んでいる。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子ども同士の関係を深める集団活動をしたり、個別の活動なども取り入れて個々の力を伸ばせるように支援している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			日案を作成し、全職員で打ち合わせ時に確認している。保護者からの相談や学校との連携についても共有している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			個人記録の記入後、非常勤職員を含めて一日の振り返りを行い保育記録を作成している。

17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		個人記録と保育記録を作成し、保育の打ち合わせ時や支援計画の作成時に活用している。
----	--	---	--	--

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6ヶ月毎に、児童の成長や新たな課題について職員間で共有検討し評価を実施している。同時に内容の見直しを行い次の支援計画に反映させている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			施設内外の活動のバランスに配慮し、社会性を育てることを大きな共通目標として支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			担当者会議には児童発達支援管理責任者または常勤職員が参加している。グループが運営する相談支援事業所との連携も大切にしている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			常に連携を働きかけ、情報共有や連絡調整に努めている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			理学療法士や担当医師と対象児童について、連携できる体制ができています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			こども相談センターや保健センターなどの関係機関と連携をとっている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		学校を卒業した児童はまだいないが、スムーズな移行のために積極的に連携していきたいと考えている
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			各種専門研修を受講している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			昨年度、当社が運営する放課後児童クラブと合同行事を開催した。今後も交流の場をつくっていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			所沢市自立支援協議会こども部会・相談支援部会に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳や送迎時を利用して、家庭での様子、施設での様子を共有している。必要に応じて個人面談を実施している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			日々の様子を共有する中で保護者の悩みや課題に対して、コパンでやってみて良い結果がでた具体的な支援方法を伝えている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時にすべて説明し、保育に関する活動方針も配布している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			連絡帳、送迎時、個人面談などで把握し、助言や支援を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	現在、保護者会は実施できていない。今後は、親子参加の活動等を行い保護者同士の関わりの場を設けていけるように努めていきます。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情が発生した時には、職員間で発生原因と改善策を共有し、迅速に対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月『KIKKORI通信』を発行し、情報を発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			データや個人情報は鍵付きキャビネットに保管している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			連絡帳や送迎時を利用して、施設での様子を共有している。毎月『KIKKORI通信』を発行し、カレンダー式の活動予定で昼食・おやつ・活動を伝達している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	今後、地域の方を招いたり、地域の活動に参加し事業に対して理解を深めてもらえるように努めていきます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			緊急時の対応について保護者へ案内し、ホームページでも公開している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月1回、避難訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止規定を作成し、職員へ周知するとともに、社内研修も実施している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束禁止規定を策定し、職員へ周知している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			面談時にアレルギーについて確認している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			保育記録に記載するようにしている。他施設の情報についても常勤会議・管理者会議で共有している。